**様式第４（事業完了（廃止）報告書）**

事業完了（廃止）報告書

年　　月　　日

支出負担行為担当官

文部科学省初等中等教育局長　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （管理機関名） | 住所 |  |
|  | 名称及び |  |
|  | 代表者名 |  |

令和○年○○月○○日付け令和○年度ＷＷＬ（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業（グローバル人材育成強化事業）は、令和○年○○月○○日に完了（廃止）したので委託契約書第１０条の規定により、下記の書類を添えて報告いたします。

記

　　 １．事業結果説明書（別紙イ）

　　 ２．事業収支決算書（別紙ロ）

**様式第４(別紙イ)**

事業結果説明書

１．事業の概要

（1）事業の実施期間

令和　年　月　日（契約締結日）～　令和　年　月　日

（2）事業拠点校名

学校名：

（3）構想の概要

構想名

|  |
| --- |
| ３０字以内で記載 |

概要：

|  |
| --- |
| ４００字以内で記載 |

（4）本事業における教育課程の特例の活用　　　有・無

２．管理機関の取組・支援実績

(1)実施日程

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業項目 | 実施期間（令和　年　月　日　～　令和　年　月　日） | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 例）○○会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○委員会 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）運営指導委員会 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）カリキュラムアドバイザー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○セミナー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○サミット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※行は適宜追加して差し支えない

(2)実績の説明

（以下ａ～ｈの項目ごとに、対応するアルファベットを付して記載してください。本項目は募集要項と連動しています。）

【実施体制の整備】

a. 管理機関の下、拠点校を中心として組織的に研究開発・実践に取り組む体制の整備状況について記載すること。特に、連携校において、国の他事業を実施している場合、複数の取組を実施するための体制を整備したことや調整したこと、工夫したこと等について記載すること。

b. 本事業が円滑および適切になされるよう、管理機関の下、関係機関の間で十分な情報共有体制を整備した状況について記載すること。

c. 構想内容の水準を維持し、必要な改善を図るために、管理機関の長、拠点校等の校長が果たした役割について記載すること。

d. 本事業の実施に際し、専門的見地から指導・助言に当たる運営指導委員会の開催実績や事業の実施状況を検証するための組織（検証組織）等が検証するために収集した資料等の状況について記載すること。

e. 管理機関が、拠点校等の卒業生の卒業後の進路とイノベーティブなグローバル人材としての成長の過程を追跡把握する仕組みを構築し、必要な情報を収集する状況について記載すること。

f. 外国人生徒の日本での学習や生活を支援する体制について記載すること。

（該当する場合）

g. 事業拠点校での取組について、本事業による取組が学校全体の授業改善や関係機関の教職員や生徒の意識改革を促した状況について記載すること。

h. 国が実施しているアジア高校生架け橋プロジェクト＋（プラス）の留学生を受け入れた場合（予定含む）、国名や人数等簡潔に記載すること。

i. 高大連携、海外大学との連携や外国人生徒の受入を推進するため、セメスター制を事業完了までに行うことについて記載すること。

【財政等支援】

（以下ａ～ｃの項目ごとに、対応するアルファベットを付して記載してください。本項目は募集要項と連動しています。）

a. 管理機関が、本事業の運営にかかる経費を国からの委託経費のみではなく、自己負担額として、計画段階よりさらに計上したものがあれば記載すること。

b. 管理機関が、事業の実施に必要な取組に対し、人的又は財政的な支援や教職員を育成するための研修やセミナー等を実施した状況について記載すること。

c. 管理機関が、国の委託が終了した後も事業を継続的に実施するために計画したことを記

載すること。

【ＡＬネットワークの形成】

（以下ａ～ｈの項目ごとに、対応するアルファベットを付して記載してください。本項目は募集要項と連動しています。）

a. 構想目的・年度計画の策定、事業の運営、達成状況の評価・見直しのため、管理機関の長と拠点校等における本事業の運営責任者、主要な協働機関の関係者等をメンバーとするＡＬネットワーク運営組織の実績について記載すること。

b. ＡＬネットワーク運営組織により、本事業が円滑及び適切になされるよう、関係機関の間で十分な情報共有体制を整備し、新たな協働事業の開発、有効な事業実施を実現したことについて記載すること。

c. ＡＬネットワーク運営組織が、国内外の大学、産業界、その他国際機関等との連携・交流を通じて、当該プログラムの修了生の、国際的な分野を学ぶ国内外の大学への進学や国内外のトップ大学等への進学、海外留学、外国人生徒受入等の促進に寄与したことを記載する。

d. ＡＬネットワーク運営組織に専任者からなる事務局を設置した状況とともに、本事業のカリキュラムを開発する体制を整えることについて記載すること。

e. ＡＬネットワーク運営組織において、国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、国内外の高等学校等との連携によるテーマと関連した高校生国際会議等の開催準備状況（令和元年度から令和５年度までのＷＷＬコンソーシアム構築支援事業カリキュラム開発拠点校は開催状況）について記載すること。

f. 事業成果の社会普及のため、社会に開かれたフォーラムや成果報告会などの実施（あるいは計画）について記載すること。

g. ＡＬネットワーク運営組織が、構想目的の達成に資する取組を計画し、その効果的かつ円滑な運営のための情報収集・提供を行ったことについて記載すること。

（該当する場合）

h.ＡＬネットワーク運営組織の基盤となる関係機関との協定文書等があれば記載すること。

３．研究開発の実績

(1)実施日程

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業項目 | 実施期間（令和　年　月　日　～　令和　年　月　日） | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 例）テーマ検討・設定 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○との連携 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○講座 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）海外連携校との交流 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）海外フィールドワーク |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 例）○○先取り履修 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※行は適宜追加して差し支えない

(2)実績の説明

【研究開発・実践】

（以下ａ～ｊの項目ごとに，対応するアルファベットを付して記載してください。本項目は募集要項と連動しています。）

a. 海外の連携校等への短期・長期留学や海外研修等を，カリキュラムの中に体系的に位置づけて実施したことについて記載すること。

b. 国が実施するアジア高校生架け橋プロジェクト＋（プラス）や海外の連携校等からリーダー，架け橋となる外国人生徒を受け入れ，日本人生徒と外国人生徒が一緒に英語等での授業を履修するための学校体制を整備したことについて記載すること。

c. 設定したテーマ（ＳＤＧｓ，経済，政治，教育，芸術等）について記載すること。

d. イノベーティブなグローバル人材育成に資する体系的かつ先進的なカリキュラム研究開発を，国内外の大学，企業，国際機関等との協働により行ったことについて記載すること。

e. 設定したテーマと関連し，外国語や文理両方の複数の教科を融合した内容を，外国語を用いながら探究活動を行う「グローバル探究」等の教科・科目を設定した状況について，記載すること。また，その実施にあたって外国人講師やＩＣＴ等を活用した実績についても記載すること。

f. 体系的なカリキュラムの編成にあたって，文系・理系を問わず，各教科をバランスよく学ぶ教育課程の編成をしたことについて記載すること。

g. 学習活動が，構想目的の達成に資するよう工夫したことについて記載すること。

h. 高大連携による大学教育の先取り履修を可能とする取組の計画（令和元年度から令和５年度までのＷＷＬコンソーシアム構築支援事業カリキュラム開発拠点校は実施状況）について記載すること。

i. より高度な内容を学びたい高校生が学習できる環境を整備したことについて記載すること。

（該当する場合）

j.「拠点校」や「共同実施校」だけでなく、「連携校」においても海外の連携校等への短期・長期留学や海外研修等を、カリキュラムの中に体系的に位置づけていることについて記載すること。

k.「拠点校」や「共同実施校」だけでなく、「連携校」においても国が実施するアジア高校生架け橋＋（プラス）や海外の連携校等からリーダー、架け橋となる外国人生徒を受け入れ、日本人生徒と外国人生徒が一緒に英語での授業等を履修するための学校体制について記載すること。

l. これまで先進的な課題研究等の実績があり、その分析評価が行われ、それらの結果を踏まえた研究開発計画及びその成果について記載すること。

m. オンラインを駆使し、国内外の大学等と連携したＡＩやビッグデータなど文理横断的な行動な学びを実現するカリキュラム開発について記載すること。

n. 大学教育（国内大学）の先取り履修の単位認定について記載すること。

o. 海外大学との先取り履修を可能とする取組について記載すること。

４．目標の進捗状況、成果、評価

（以下ａ～ｃの項目ごとに、対応するアルファベットを付して記載してください。本項目は募集要項と連動しています。）

a. イノベーティブなグローバル人材の育成状況について、を記載すること。記載の際には、

資質・能力（コンピテンシー）、心構え・考え方・価値観等（マインドセット）、探究スキル等について、スーパーグローバルハイスクールの成果検証において設定している高校生段階のグローバル人材の資質・能力等も踏まえて記載すること。

b. ＡＬネットワークが果たした役割等について、簡潔に記載すること。

c. 短期的、中期的及び長期的に設定した目標（要件１－①、②の重点的に取り組む項目の目標を含む）の進捗状況等について記載すること。

５．次年度以降の課題及び改善点

✔本事業に関する管理機関の課題や改善点について記載すること。

✔ＡＬネットワークの課題や改善点について記載すること。

✔研究開発にかかる課題や改善点について記載すること。

✔自走に向けた取組（予算確保や人員配置等）と自走の方向性、について記載すること。

【管理機関の担当者】本件について連絡する場合がございます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担当課・室 |  | 担当者  職・氏名 |  |
| 電話番号  （直通） |  | E-mail |  |